



志布志地区  
地域安全  
ニュース

# びろうじま



発行  
志布志地区  
防犯協会  
(志布志警察署内)  
電話 472-0110

# 回 覧

2025年に県内で認知した「うそ電話詐欺」「SNS型投資・ロマンス詐欺」の被害額は**33億1900万円**（前年から約12億3800万円増）で過去最悪となり、被害件数は612件（前年から182件増）となりました。

鹿児島県警が被害者や相談者を対象にしたアンケート結果では、約6割が「自分はだまされなかった」と回答。約7割が「（被害を周囲に）相談しなかった」と答えました。

詐欺は身近なところで起きています。誰もが危機感を持ちましょう！

## 境内にうそ電話詐欺赤鬼・青鬼出没！福豆の威力で鬼退治！

安楽山宮神社で2月3日、節分祭があり、豆まきに集まった住民に志布志警察署員が、昨年発生した県内のうそ電話詐欺被害額が33億1900万円にも上り、被害が急増していること、騙しの手口が年々巧妙化していること、誰がいつ被害を受けてもおかしくないことなどを紹介し、注意を呼びかけました。

その後、「うそ電話詐欺鬼」が登場。境内で大暴れ。安楽保育園の園児や小学生約100人が神社からもらった豆を投げて攻撃すると、鬼はたまらず退散。その後、節分祭の来訪者に防犯ボランティア員が「うそ電話詐欺注意啓発」防犯キャンペーンを実施しました。

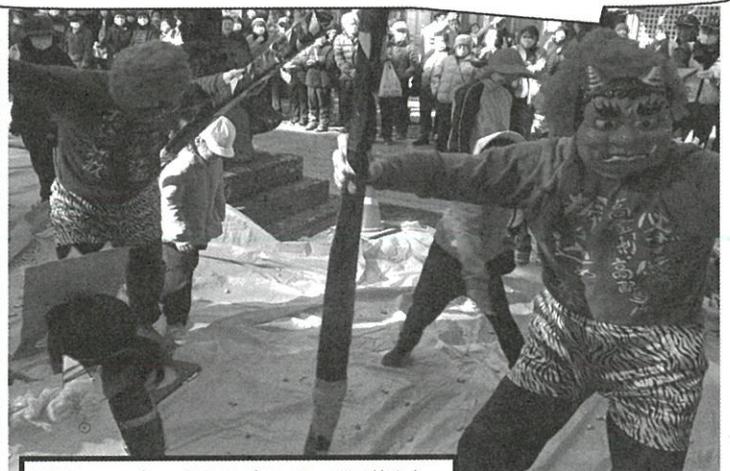
鬼に扮した野村通山校区コミ協会長と西川野神校区コミ協会長は「豆を投げつけられ痛かったけど、楽しかった」と満足そうでした。

我こそは「うそ電話詐欺鬼」じゃ！人をだまして、がっばり儲けるぞ！ガオー！

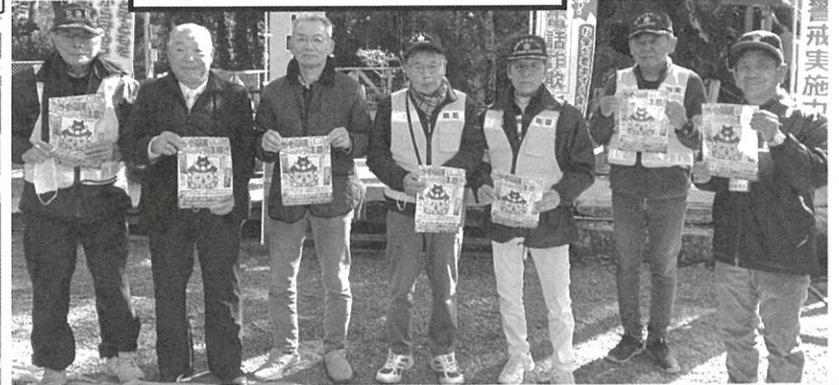
詐欺は身近なところで起きています。誰もが危機感を持ちましょう！



「うそ電話詐欺」にだまされないよう、気を付けます！



防犯キャンペーン参加のボランティアの皆さん



「いっとっ待て！」運動 「すぐに送金しない、一人で送金しない！」 志布志警察署・志布志地区防犯協会

# 警察官を騙る詐欺に注意!!

## 二七警察官詐欺の特徴

特徴 1

主に国際電話番号でかけてくる



特徴 2

アプリでのテレビ電話に誘う



特徴 3

通話画面で警察手帳や逮捕状等を見せてくる



特徴 4

お金を要求してくる



## 被害にあわないためには! 大人もいかにおす!

い「行かない」

相手の言いなりのままATMには行きません。



か「買わない」

相手に言われて電子マネーは買いません。



の「乗らない」

うまい話には絶対に乗りません。



お「押さない」

怪しいサイトやURLを押しません。



す「知らせる」

おかしいと思ったら家族や警察に!



みんなで守る!

みんなで防ぐ! 詐欺被害!

## SNS型ロマンス詐欺



外国人又は海外居住者を名乗り、SNS等で恋愛感情や親近感を抱かせ、最終的に暗号資産等の投資、同居するための運搬費や貯蓄、遺産譲渡のための税金や手数料など様々な名目で金銭を騙しとろうとします。

あの人困っている。なんとかしたい

このくらいの金額なら、ま、いいか。

嫌われたくない...

といった心理につけ込みます。

身の回りをチェック!

- SNSで知り合った
- 相手が外国人 (在外日本人含む)
- 二人のために貯蓄をしようとすすめられた
- 荷物の開封を払ってほしいと個人名義の口座へ入金してほしい
- 会いたいから航空券代払って

## SNS型投資詐欺



SNS等の連絡手段を用い、架空の投資アプリを使って利益が出たように見せかけ、実際に一部の還元と称して現金を被害者の口座に振り込むなどして信用させ、多額の振り込みをさせ金銭を騙しとろうとします。

将来が心配だから投資で稼ごう

この著名人であれば信用できる

サクッと稼げるのはいいなあ

といった心理につけ込みます。

身の回りをチェック!

- 投資に関する広告やURLをクリックした
- SNS上で投資に関するグループトークに誘われた
- SNSで知り合った相手から「儲け話」をされた
- 著名人の名前や投資専門家が出てきた
- 投資用アプリのダウンロードをすすめられた

その相手、本当に大丈夫?

相手との出会いは SNS だけではありません。金銭に関するお話は、特に警戒をしておきましょう!

## ◎ 南日本新聞-うそ電話詐欺被害記事 より

### 偽の投資アプリで架空取引詐欺 県内男女 計7000万円被害

(令和8年2月17日掲載)

鹿児島県警は16日、県内の30代男性と60代女性が2025年8~12月、LINE(ライン)を介した投資詐欺でそれぞれ約3800万円、約3200万円をだまし取られたと発表した。

いずれも偽の投資アプリ上で架空の取引をさせ、金を振り込ませる手口だった。

県警組織犯罪対策課によると、男性は投資家を名乗る人物のフェイスブックに「私が案内した株を買った人はすごく稼いだ」との文言を見つけ、添付のリンクをタップ。投資アプリを勧められ、複数の指定口座にインターネットバンキングで計10回振り込んだ。同12月中旬、同じ手口の詐欺を報じるニュースを見て不審に思い警察に相談した。

女性は「投資クラブ」というホームページにアクセスし、指南役と名乗る人物と友達登録した。「AIが自動で株を売買するので楽にもうかる」などとラインで説明され、投資アプリを入手。指示された複数の口座へネットバンキングから計14回振り込んだ。

同月中旬、金を借りるために用途を親族に伝えたところ、警察に行くよう諭された。

県警は、ラインで知り合った人物に投資アプリを紹介された場合は詐欺を疑い、警察や家族に相談するよう呼びかけている。

### 県内70代男性5400万円被害! SNS投資詐欺

(令和8年2月4日掲載)

鹿児島県警は2日、県内の70代男性が交流サイト(SNS)を通じた投資詐欺で、計約5400万円をだまし取られたと発表した。県警組織犯罪対策課は「投資のサイト上で、利益が出たと見せかけ信用させる手口が多発している」と注意を呼びかけている。

同課によると、男性は昨年8月中旬、スマートフォンで「投資の勉強会」に誘う広告を閲覧。実業家や投資の講師を名乗る人物とラインでつながった。招待されたライングループ内で株の売買のタイミングを教わり、他の参加者が利益が出たことを報告していたため信用し、架空の証券会社のサイトで口座を開設した。

投資目的で10回にわたり、指定された個人名義の口座へ現金を振り込んだり、証券会社の外勤スタッフを名乗る受け子に手渡したりした。県内の繁華街の食品店内や自宅で手渡し、相手は毎回別の男女だった。サイト内の口座の残高が増え、疑わなかったという。

12月上旬、証券会社のサイトで「口座が凍結され出金できない」とのメッセージを見て不審に思い、県警に相談し被害が発覚した。

県警の担当者は「広告からラインに誘導される場合は詐欺を疑って。少額でも安易に振り込まず、周囲に相談してほしい」と訴えた。